

和花のお正月

書き初め



一月号のお便りで新年のあいさつをさせていただきましたが、ご入居者様全員無事に新年を迎える事が出来ました。これも皆様のご協力あつての事だと思えます。改めて心より感謝をもうしあげます。

和花では新年早々にお正月にちなんだレクを行いました。またお食事でも正月を感じて欲しいと思っておせち料理をメニューに入れており「わー豪華だね〜」「お正月かい、また1つ年をとるじゃない」と笑顔溢れるお正月となりました。

コロナの影響で外泊や外出ができず、ご家族様と迎えるお正月を実現出来ませんでした。和花で皆様無事に年越しを出来た事が大変嬉しく思います。

いつも通りのお祝いができず、少々ものさみしい思いをしています。二月の節分で日ごろのうつつぶんを鬼にぶつけて、明るい一年になるように願いたいとおもいます。



福笑い



カルタあそび



新型コロナウイルス対策おける面会等の制限継続のお知らせ

全国各地で新型コロナウイルス感染が収まらず、政府からは緊急事態宣言の延長が発表されました。また、となりの苫小牧市内でも連日陽性者の発表が続き、市中感染も拡大していると思われます。皆様の健康と安全のため、ご面会などの制限を今しばらく継続させていただきます。ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

おしらせ

和花より

皆様が不安を募らせている新型コロナウイルスの状況ですが、上記にも述べている通り、緊急事態宣言が三月まで延長となりました。

コロナ感染が日本で発生して一年、なかなか収束のめどが立たず...ご家族様との面会やレク・プログラムの制限を続けており、皆様にはご不便をおかけしております。

ワクチン接種の報道も目にします。

暖かくなるまでに、少しでも収まってくると良いのですが...

さて、寒波や雪でまだまだ厳しい冬の真っ只中ではありますが、暦の上では「立春」を迎えました。季節が春へと移り変わる節目を超えたと思えば、穏やかな季節まであともうひと踏ん張りです。コロナ禍の中、いつもと違う形ではございますが、節分のお祝いをしてご入居者様の無病息災を祈願いたしました。春を待ちながら、暖かくして過ごしましょうね。

それでは、次月号もお楽しみに。

節分



今年二月二日が節分でございます。いつもは二月三日の節分。日にちがずれるのは、実に百二十四年ぶりなんだそうです。

コロナの影響が続いている中、和花では「今年はコロナだから鬼も来ないよ」「いやコロナでも鬼は来るよ」など、鬼が来るか来ないかで皆様の話題になっています。



さて、節分とは「季節を分ける」という意味があるそうです。季節の分かれ目には鬼(邪気)が来ると言われています。豆は魔の目という意味があるらしく、豆をぶつけることで邪気を払い風邪を引かず一年無事に過ごせるようにという意味があるそうです。

今年も一年無事に過ごすために、和花ではどんな豆まきを行ったのか：次月号にてその様子をお伝えいたしますので楽しみにしてください。

